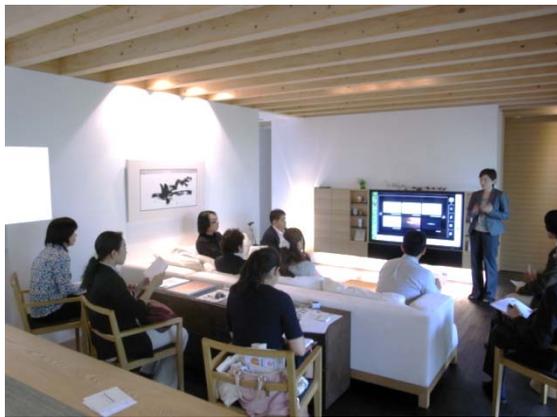


IAUD Newsletter vol.5 第5号 (2012年7月号) 目次

- 1. 特集：労働環境 PJ 実験住宅視察及びワークショップ開催報告・・・1
- 2. IAUD 7月の予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

ユニヴァーサルな働き方を追及

活動報告：労働環境 PJ スマートハウス「観環居」視察及びテレワーク実施者とのワークショップ開催



様々な特性を活かしすべての人が気持ちよく働けるユニヴァーサルなワークスタイルの実現と、テレワーク(在宅勤務)の研究を行なっている労働環境 PJ は、5月15日(火)に「スマート・ネットワークプロジェクト」の実証実験住宅「観環居(かんかんきょ)」(横浜市西区)の視察と、テレワーク実施者とのワークショップを開催しました。

この視察及びワークショップには、多様な視点を取り入れるため、他の研究部会のメンバーやテレワークを実施している企業の方など10社

16名が参加し、活発な意見交換やアイデア出しを行いました。

その様子を同PJの田中培仁主査(富士通デザイン(株))に報告していただきます。

これからの労働環境に求められる働き方

東日本大震災で浮き彫りとなった「節電対策」、「帰宅難民」、「通勤困難」、「仮設住宅」、「就職困難」などの多様な問題に加え、「介護」、「育児」、「高齢化社会」などダイバシティに関する課題を背景にして、労働環境 PJ は、誰もがいつでもどこでも働けるユニヴァーサルな働き方である「テレワーク」を、昨年度より新しい研究テーマとして活動を進めてきました。

そこで、テレワークの先進事例や経験者の知見、現場の課題などをできるだけ多く集め、利用者中心のUD視点で取りまとめていくフィールドワークの一環として、テレワークの先進事例であるスマートハウス「観環居」視察及びテレワーク実施者とのワークショップ」を開催しました。

新しい暮らしのかたちを提案



横浜みなとみらい 21 地区にある「観環居」(左写真)は、低炭素社会と人間性あふれる豊かな暮らしを目指して、通信規格の統一・標準化を見据えた総務省事業「スマート・ネットワークプロジェクト」の実証実験住宅として、積水ハウス(株)が新しい暮らしのかたちを提案している住まいです。スマートグリッド(次世代電力網)、電気自動車社会を見据え、標準化された通信規格で住環境・オフィス・交通をつなぐことで、人々の生活を豊かにし、笑顔を繋いでいくことを目的にしています。

※積水ハウス「観環居」の詳細は以下のリンクをご参照ください↓

<http://www.sekisuihouse.co.jp/snpi-kankankyo/>

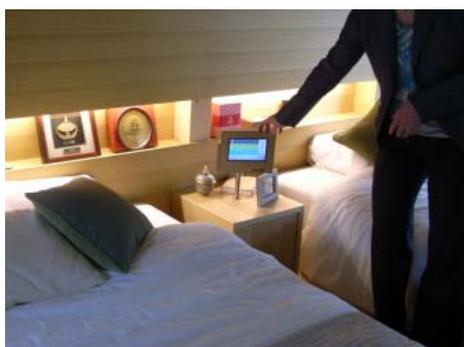
視察では、観察者の印象変化を 4 つの分類で記録するため、シート「MOTIF」(株)富士通研究所が開発)を用いました。

日付: 2012/05/15	時間: 13-18	フィールド: 「観環居」	対象者: IAUD労働環境PJ	記入者: 集計
<p>驚き</p> <p>木をたくさん使っていることで落ち着く、素敵です 瓦と一体型の太陽光パネルで存在感を満している</p> <p>涼感、無垢素材による調温 障子の張り合わせは暖かい</p> <p>階段の手すりのほみが気持ちいい 家電が一括制御できるのは便利</p> <p>電気自動車との共生関係 TVで文字は読みづらい</p> <p>ホームエネルギー・マネジメントシステム (HEMS) TVを毎日見ないといけない</p> <p>キッチンでもモニターを確認できるのは便利 有事に情報は途切れないか</p> <p>靴を履くことでON/OFFの切替えができる 給湯はスマホでできるか</p> <p>シェアカーの電力の見える化ネットワークはすごい メンテナンスコストがかかりそう</p> <p>見守りサービスは良いですね 太陽光発電量がわかると毎日得た気分がうれしい</p> <p>「家」単位のエコランキング 「家」を起点とした情報が得られるのは便利</p> <p>日本の伝統を生かした設計 地方で仕事ができる</p> <p>懐かしい未来 スマホで外部から電力や量の確認やON/OFFができる</p> <p>大量の説明書がTVに一括してあるのは良い 建築と共に取り入れることでスマート感</p> <p>見守りシステム、なんとなくの動きレベルにできる 玄関や窓など至る所で情報を得られる</p> <p>ダッシュボードで、目線に対してほしいものを設定するのは面白い</p> <p>電気自動車を家の中に入れられる可能性 お子様視点の画面の配置</p>		<p>疑問</p> <p>TVでの各種情報は文字が小さかったり配色が見分けにくいなど視認性に配慮すると良いのでは。</p> <p>結露は問題ないか 震災以降、セキュリティや地震情報などはどうなっているか</p> <p>メンテナンス、アップデートはどうするか 標準化はできるのか</p> <p>テレワークスペースと車庫と一体化する意味は 換気の操作が難しい高齢者向けのインターフェースは</p> <p>スマートデバイスがあれば至る所に画面はいらないのでは テレワーク時のセキュリティ、窓を背景だと気になる</p> <p>見守りシステム、防犯システムはどこまで制御するのか ダッシュボードを見続ける仕組みは</p> <p>電気自動車のエネルギーってどれくらいなんだろう システムの入力が一般の人がわかりやすくないか</p> <p>エコランキングには興味もてるか</p> <p>ARで見れたら面白そう テレワーク環境には透明・不透明が変化するシートがあったらよいのでは</p> <p>ナビゲーションが大事 SOHOは暖かい部屋がいいなあ</p> <p>チャットできたらもっとコミュニケーションできそう</p> <p>停電の際、自動車の電力が使えたと業務が止まらず助かる(計画停電時困った) 紙資料や学校のお便りやクーポンなどがスキャンできる仕組みがあると良い</p> <p>業務で使用した電力量が分けてわかると良い</p> <p>マニュアルを自分で追加していけると便利 リアルの情報とのリンクでゆるい繋がりを</p> <p>追加した家電の登録を家題に自分で簡単に追加できると便利(ICタグを活用しては。) キッチンからそのまま買い物できそう</p> <p>キッチンでテレビ情報なども見れると便利かも</p>		
<p>共感</p>		<p>閃き</p>		

「観環居」に見られる UD 施策

「観環居」は、先進的なスマートハウスというより、ICT（情報通信技術）のデジタル感が表面に感じられない、自然を感じる人間らしい暮らしを追求した快適な空間でした。キッチン、リビング、テレワークスペース、玄関、寝室などに組み込まれたダッシュボードにより、あらゆる「場」と連携することで、住環境・オフィス・交通がネットワークによってリンクした情報を、いつでもどこでも誰にでも提供できるユニバーサルな仕組みが組み込まれています。

更に、スマートデバイスとリンクすることで、「場」を選ばずその情報を活用し、コントロールをすることができます。寝たきりの高齢者にも優しい寝室の端末（下写真①）、リビングに設置された家族みんなで楽しめる視認性、操作性に配慮した大型ダッシュボード（②）、育児ママに便利なキッチンカウンターと壁面での情報表示、食材や子供とのコミュニケーションに配慮しディスプレイ（③）、手をかざすだけで給水の ON/OFF が可能な水栓器具（④）、子供の身長を配慮し低めに設置された玄関の画面（⑤）、生活スペースと中庭を挟んだ場所に設置することで、セキュリティやメンタルに配慮しているテレワークスペース（⑥）など、「ICT」と「場」がリンクすることで多様性に配慮している UD 施策が数多くみられました。



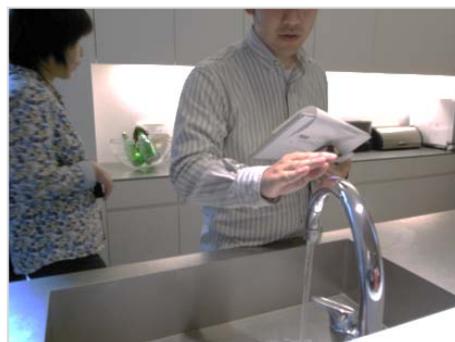
① 寝室



② リビング



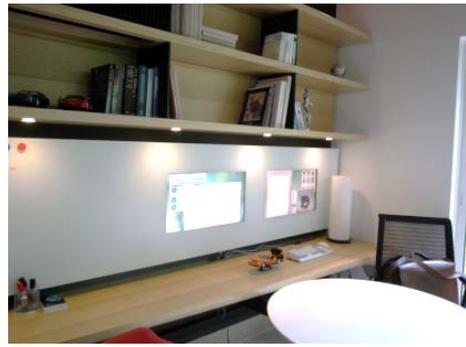
③ キッチンカウンター



④ 水栓器具



⑤ 玄関



⑥ テレワークスペース

テレワーク実施者とのワークショップ



視察後、「観環居」にプランニングされたテレワークスペースを眺めながら、自宅でのワークスタイルシーンをイメージしたワールドカフェ形式でのワークショップを実施しました。ワークショップには、ワークスタイル・イノベーション推進の一環としてテレワークを実施している(株)NTTデータ様や、障害者のテレワークを推進している(株)NTTデータだいち様にご参加いただきました。

第一セッションでは「私がテレワークをしてみても困ったこと、困りそうなこと」をテーマに、グループディスカッションを3テーク実施しました。

第二セッションでは様々な課題を抽出した上で、「誰にとっても働きやすいテレワークとは？私ならこう解決します」をテーマに、その解決策をディスカッションしました。

終了の合図が聞こえないほど白熱したワークショップにより、短時間ながら多様なメンバーから多くの課題が見えてきました。



※テレワークへの取組みの詳細は以下のリンクをご参照ください↓

NTTデータ(株) 2011年3月31日時点の実施者は約430名。

<http://www.nttdata.co.jp/release/2008/022500.html>

NTTデータだいち(株)

<http://www.nttdata-daichi.co.jp/news/20120326.html>

ワークショップから見たテレワークの課題

	テレワーク(在宅勤務)で困りそうなこと/困ったこと	私ならこう解決
コミュニケーション	ちょっとした軽い打ち合わせがやりにくい	チャット テレビ会議システム 社内SNS マイクロソフトのシェアポイント ネクステイ(ネット上のたばこ部屋)
	他部門の人に急な対応で呼び出されても対応できない。	
	一緒に仕事をしている他部門の人にテレワーク中であることが伝わっていない。	
	会社の中の周りの流れが分からない	
	同僚(上司)の仕事の状況が分からない。	
	ちょっとした相談をしたい時に相談できる相手の忙しさ具合がわからない。	
	新入社員が、先輩に聞けなくて困る。タイミングがつかめない	
	長期で会社に行かないと寂しい。	
	チャットでは相手が席をはずしていることとコミュニケーションにずれが生じる	
	ランチで仲間とおしゃべりができない	
	話している相手の顔の表情が分からないので、困る	
	緊急対応ができない	
電話が取れない		
事務手続きができない		
ちょっとした質問ができない		
人間関係が疎遠になる		
周囲から働いていないように思われる		
PCの処理能力の差(スペック不足)		
ICT環境	ソフトが家のPCに入っていない。(イラストレーター、フォトショップ、3Dキッドなど)	会社からハードディスクが無いテレワーク用テレワーク端末を貸し出す ネットワークで会社のPCに置き会社と同じ環境を作る
	家のパソコンのモニターが小さい。	
	ノートブック対応で画面が小さい(自宅PC使用負荷)	
	自分のPCは使用不可 アカウントロックなど、何かトラブルがあって対応できないと全く仕事ができない。	
在宅環境	色の判断をする場合の照明環境など、家の環境では出来ないことがある。	
	仕事ができる環境が自宅に確保できない。(居間での仕事、子供がくずる)	・暖色照明(リラクセス)と白色照明(集中)を使い分ける ・調光できるLED照明 模様替えの実施
	自宅ではなく別の環境が望ましい	
	環境が悪いので、スペースがない	仕切り部屋 防音工事
モチベーション	音の問題→会議中にインターホンが鳴ってしまう	
	家族の出る音(子供の声、テレビの音)	
	訪問者に対応しなくてはいけない	・家族の協力なしには出ない(松本)
	子供対応で仕事にならない	
その他	急な呼び出し・顧客対応に遅れる	
	家だと気が散る	
	On/Offの気持ちの切り替えが難しい。	
	ながら仕事になってしまう	
	お化症をしないOnになれない	
	海外とのコミュニケーションで深夜になってしまう	
	通勤時に感じる待ちの変化や季節感が減ってしまう	
	データの一元管理が難しい	
	これまでの経緯などが分からないと進められないことがある。	・友軍販売員を設ける(松本)
	見たい資料がないと仕事にならない。	全ての資料をスキャナーでデータ
資料をスキャンし忘れると不便		
物が無いとわからないことがある。		
長時間労働してしまう。(自分の時間を削いで仕事をしてしまう)		
残業時間が申告できない		
急な深夜勤務の上司承認が事前に取れない		
上手に気分転換ができない		
モバイルの紛失など		
家の電気代がかさむ		
運動不足になりすぎる。		
近所の人に理解されていないと不審に思われる		
上司承認		
	ネット上でのシステム化	

「テレワーク×UD」に関連する気づきをカテゴライズ化して分析していくと、大きく「コミュニケーション」、「ICT環境」、「在宅環境」、「モチベーション」の4つに分類できることが見えてきました。

A. コミュニケーション：

「ちょっとした」会話や、支え合いが実は重要。急な呼び出しに対応できない、寂しく人間関係が疎遠になる、相手の気持ちが伝わらない。

B. ICT環境：

家の環境・設備ではできないことが多い(専門ソフト、ハイスペックPC)。トラブルの対応ができない、セキュリティを確保できない。

C. 在宅環境：

自宅には仕事に集中する環境が作れない(音・照明・子供・専用スペース)。必要な情報が電子でしか参照できない。

D. モチベーション：

ON/OFFの切替えが難しく非効率になる、気が散りながら仕事になってしまう。逆に気分転換ができない、通勤がなくなると季節感が感じられない。

「テレワーク×UD」の発信

労働環境PJはこれからも継続してフィールドワークを実施し、実際にテレワークを行なっている障害者の方からの情報収集や、先進的なテレワーク環境の視察と深掘りを行います。そして、今後の「テレワーク×UD」の望ましい環境の提言や発信に向け、活動を継続していきたいと考えています。(了)



IAUD 2012年7月の予定

- 5日(木) 14時半～メディアのUDPJ定例会 (IAUD サロン)
- 6日(金) 14時半～ワークショップ委員会会合 (IAUD サロン)
- 10日(火) 11時～ 評議員会会合 (セルリアンタワー東急ホテル)
- 11日(水) 14時半～衣のUDPJ定例会 (IAUD サロン)
- 12日(木) 12時～ 住空間PJ定例会 (IAUD サロン)
- 13日(金) 13時～ 標準化研究WG定例会 (IAUD サロン)
- 18日(水) 15時～ 実行委員会会合 (IAUD サロン)
- 19日(木) 10時～ 食のUDPJ定例会 (IAUD サロン)
15時～ 研究部会定例会 (IAUD サロン)
- 20日(金) 13時半～余暇のUDPJ定例会 (IAUD サロン)
13時半～移動空間PJ定例会 (DIC(株)、東京・日本橋)
- 23日(月) 15時～ 協同事業委員会会合 (IAUD サロン)
- 24日(火) 15時～ 運営企画会議会合 (IAUD サロン)
- 25日(水) 14時半～衣のUDPJ定例会 (IAUD サロン)

メンバー募集中の研究部会・委員会はこちら↓

<http://www.iaud.net/news-f/archives/1204/17-134308.php>

次号は7月下旬発行予定

特集：メディアのUDPJ「色のUDFC」開催報告(予定)

無断転載禁止

IAUD 情報交流センター (IAUD サロン) :
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-25-9 トヨタ八丁堀ビル 4 階
電話 : 03-5541-5846 FAX : 03-5541-5847 e-mail : salon@iaud.net